



インドネシア人
実習生が着てい
たシャツのプリ
ント。兜を被っ
た武将だそうで
す

9月に入りましたが、残暑厳しい日が続いています。また、台風の上陸・通過による大雨など、不安定な天候が続く中、八月後半から今月にかけては、地震も多く、来日したばかりの実習生の皆さんの中には、日本での生活に不安を感じている方も多いようです。特に地震に関しては、地震の「揺れ」に慣れていない実習生が多いようで、地震で校舎が多少揺れただけで、緊張した表情で「じしんです」「じしんです」と、慌ててしまうケースが多いです。先日も休み時間中に震度4の地震がありましたが、実習生の皆さんは大慌て、一方の本校講師陣は慣れたもので、冷静に各教室に赴き、ざわつく実習生の皆さんに、それほど心配する地震ではないこと、教室内で安全の確保をすることを伝えました。このように、私たち日本人にとっては、慣れていて普通に感じることでも、外国から来たばかりの実習生の皆さんは、私たちが想像する以上に、理解に苦しんでいたりと、不慣れなために慌ててしまっていたり、心配してしまっていたりしているのだと思います。日本暮らしの大先輩として、日本語の授業を通して、防災に関する知識を伝え、皆さんの不安を出来るだけ解消してあげられるように、実習生の皆さんの実生活に即した授業内容の工夫・実践に、これからも取り組んでいきたいと思ひます。

あじけんスコープ Vol.46

先日、本校アジア研修センター実習生寮の管理人の池田さんが、趣味で長年習っている日本舞踊を披露してくれました。

実習生の皆さんが日本の観光地や名産品について調べた内容を発表し合う学習発表会の参観者としてお誘いしたところ、「それならば、お返しに日本舞踊を見せてあげたい」ということになり、学習発表会の後に、「大黒舞い」と「武田節」の2つの踊りを披露してくれました。目の前で見る日本舞踊の動きの優雅さと力強さに、実習生の皆さんは、興味津々でした。



「武田節」を披露する池田管理人

今月の実習生

今月の実習生は、実習生寮の近くにある無料の地下水給水所にはまった？ミャンマー人実習生のMYO KYAW (ニョ)さん(手前)と、NAY LIN(ネイ)さん(奥)をご紹介します。彼らの日課は朝の水汲みから始まります！

始めは、飲む分だけを500mlのペットボトルに入れていたのですが、その美味しさに魅せられて、今ではご覧の通り毎朝1日分の水を汲んで、飲料水だけでなく、料理やコーヒーを飲むときにも使っているそうです。

・このお水は本当においしいです。毎日ペットボトル7本水をもらいます。(ネイ)

・朝は人がいませんから、みずをもらうのがかんたんです。毎朝6時ごろここにきます。(ニョ)



あじけん流日本語授業

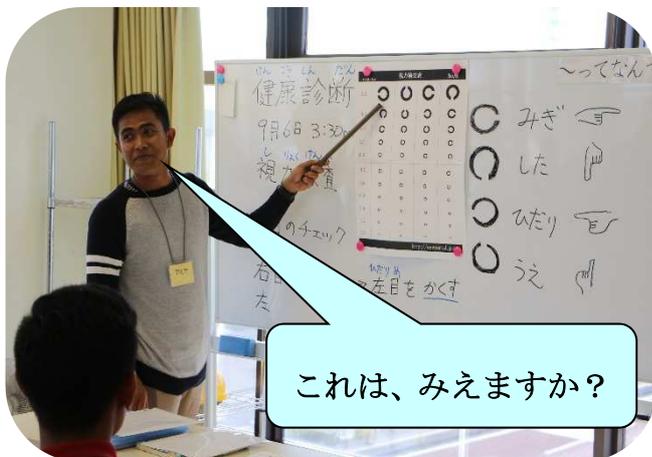
今月は、「視力検査」を応用した位置詞（「みぎ・ひだり」「うえ・した」）の定着を図るための実践的な活動をご紹介します。この授業は、本校アジア研修センターを会場として行なわれている実習生の健康診断で、実習生の皆さんの視力検査に時間が掛かり過ぎてしまうことから、授業で練習したらいいのではと考え出されたものです。実際の検診では、双眼鏡の様な形状の計測器を覗き込むスタイルで視力検査が行なわれますが、お馴染みの円が一部切れているマークを見て、その位置を言い当てる形式に違いは無いので、「みぎ・ひだり」「うえ・した」の意味を正確に理解してもらい、それらの定着をより着実なものにすることで、実際の視力検査もスムーズに進むようになりました。また、実習生同士で検査をし合うスタイルを取り入れることで、学習者中心の授業となり、「これはみえますか?」「はい、みえます」「すみません。みえませぬ。」等の可能形を用いた対話や、「すごいですね。めがいいですね」「めがよくないですね」等、アドリブを利かせた自然な会話練習も出来て、まさに一石二鳥の活動になっています。

① 講師が視力検査の手順を説明

② 視力検査のやり方の例を見せる



③ 検査担当者役と検査を受ける実習生役に分かれて、ロールプレイ形式で会話練習



※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバー
もご覧になれます